

# シンポジウム 放射線被ばくに備えよう 東京電力福島第一原子力発電所の事故から学ぶ

2016 10.29 土

午後 1:00~5:00

星陵会館ホール

(東京メトロ「永田町」駅徒歩3分)

参加費 500円 障がい者、大学生以下無料

「熊本・大分地震」では、本震の連鎖など、従来の地震学を覆す事象の発生により、これまでの常識や定説に基づき評価されたく原発の耐震堅牢性>が破綻する可能性が生じています。

福島第一原子力発電所事故の収束作業において、被ばくの影響が小さいと考えられる高齢者の活用=被ばくの肩代わり=を目的に活動してきた福島原発行動隊は、今回の熊本地震を踏まえ、支援活動の想定範囲を福島第一原発に限定せず、国内の全ての原子力施設へと広げ、研修を継続拡大し啓発を進めることにしました。

今回シンポジウムでは、福島第一原発で予定される使用済み核燃料や核燃料デブリ取り出し時のリスクのほか、「福島規模の原発事故再発」の可能性を踏まえて、原子力施設事故発生時に「収束作業に参加する」「避難する」、いずれの場合でも直面する作業者と住民の被ばくの問題に焦点を絞ります。

- (1) 福島第一原発事故時に作業員が高線量被ばくした実例の把握と評価、自ら高線量区域に入域して作業する場合の放射線防護の考え方
- (2) 福島第一原発事故直後の住民の内部被ばくの実例把握と評価、いざという時に内部被ばくをしないための方策（準備）と、内部被ばくの可能性を確認するための検査と対処
- (3) 福島第一原発事故時に住民が外部被ばくした実例の把握と評価、自らできる外部被ばくの測定手段と普段からの備え
- (4) 被ばくの測定手段と普段からの備え

以上のテーマについて学習・意見交換をし、「明日にでも再発生しうる原発事故」による放射線被ばくから自分たちを、そして地域社会を守るシンポジウムです。ぜひ、足をお運びください。



講演

パネリスト

## 井出 寿一 氏

(元福島県川内村総務課長)

パネリスト



### 伊藤邦夫

「行動隊」前理事長 東大名誉教授（専攻・金属材料学）  
東京大学工学部冶金学科卒業。1999年3月まで東大勤務。同年4月、日本大学生産工学部管理工学科に転職。2008年3月、日本大学を退職。福島原発行動隊には創立者の山田が東大の同級生なのが縁で参加。福島県楢葉町でのモニタリングなどに参加。現在は公益社団法人福島原発行動隊の理事。

パネリスト



### 竹岡健治

栄区の放射線を測る会：神奈川県横浜市

広島県庄原市生まれ。広島大学工学部卒。東北大学金属材料工学専攻修士課程修了。日立製作所勤務を経て横浜市立小学校教員28年。横浜国大教育学研究科学校教育専攻修士課程（夜間主）修了。修士論文を下に、著書「横浜市教育行政の研究－中田市長の登場で何が変わったか」。現在、有志で「みんなの広場（さかえ市民共同事務所）」を運営、放射線測定は活動の一つ。

パネリスト



### 守田敏也

ジャーナリスト

「みんなの滋賀新聞」編集局・同志社大学社会的共通資本研究センター客員フェローなどを経て、フリーライターとして取材活動を続ける。同志社では創始者、新島襄、山本覚馬などについても考察を深めロンドン大学SOASで講演。著書に『原発からの命の守り方』（海象社）、2012年3月に物理学者の矢ヶ崎克馬氏との共著で『内部被曝』（岩波ブックレット）がある。

パネリスト



### 山田英雄

ロシア語医療通訳

広島市出身の被ばく二世。高校卒業後モスクワのパトリス・ルムンバ民族友好大学医学部に進学。旧ソ連の医師免許を習得する。チャルノブイリ医療支援ネットワークの医療通訳・顧問を務める他、赤十字や医療専門家、NPO、マスコミ関係等の現地取材コーディネーターとしてチャルノブイリ、旧ソ連セミパラチクス核実験場の被災地などを30年にわたり訪問。医療、語学の能力を活かして核被災者支援に携わり続けている。

ファシリテーター

### 吉田悦花

NPO 法人神田雑学大学理事長

作家、随筆家、俳人。平和に生きる権利の確立をめざす懇談会運営委員。毎週金曜夜、東京都千代田区九段下の「かがやきプラザ」で開催している社会教育講座は17年、800回を超える。NHK「美の壺」、テレビ朝日「ワイド！スクランブル」などメディア出演多数。



公益社団法人 福島原発行動隊  
Skilled Veterans Corps for Fukushima

福島原発事故の収束作業にシニアの力を

〒101-0063

東京都千代田区淡路町 1-21-7 静和ビル 1階 A室

電話：03-3255-5910 フax: 03-3525-4811

メール：svcf-admin@svcf.jp ウェブ：<http://svcf.jp/>